

第4学年 ICT活用教育実践事例

外国語活動

「Unit8

This is my favorite place.」

～お気に入りの場所を伝え合おう～

学習のねらい

相手に配慮しながら、自分のお気に入りの場所やその訳を分かりやすく伝えることができるようにする。

前時までの流れ

①単元の導入の工夫

2年間お世話になったJTEに、学校を案内して魅力を伝えようという、目的意識を高める導入の工夫を行った。

前時までの流れ

② 栢志小学校の地図を使用

Unit8で扱う英単語数はたいへん多いため、オリジナルの地図を使用し、児童の生活と結び付けて考えられるよう工夫した。



前時までの流れ

③ ICTを活用した、オリジナル紹介カードの作成

タブレットを活用し、自分や校内のお気に入りの場所の写真を撮影し、自分の思いを込めた紹介カードを作成した。



This is my favorite place.

I like

Name



自分の顔写真

学習の流れ（本時：4／5）

- ①挨拶・音素体操をする。
- ②ポインティング・ゲームをする。
- ③お気に入りの訳を伝える言い方を考える。
- ④お気に入りの場所とその訳を伝え合う。
- ⑤本時の振り返りをする。

①挨拶・音素体操をする。(帯活動)



外国語科「文字がもっている音への指導」につながる素地として、アルファベットの名称を音素に分け、体全体を使いながら発音する活動を取り入れた。

音素体操・・・音韻認識能力を高め、文字とそれに対応する音について学習するフォニックスの最初の段階で行うと効果的な活動（アレン玉井 光恵、2010、『小学校英語の教育法-理論と実践』大修館書店）

②ポインティング・ゲームをする。

Where is your favorite place? (全員で)



This is my favorite place.

P,p,p,p...playground.

Playground!(指で指す)

○単語の最初の音を繰り返し替えさえることで、音素体操からのつながりを意識させた。

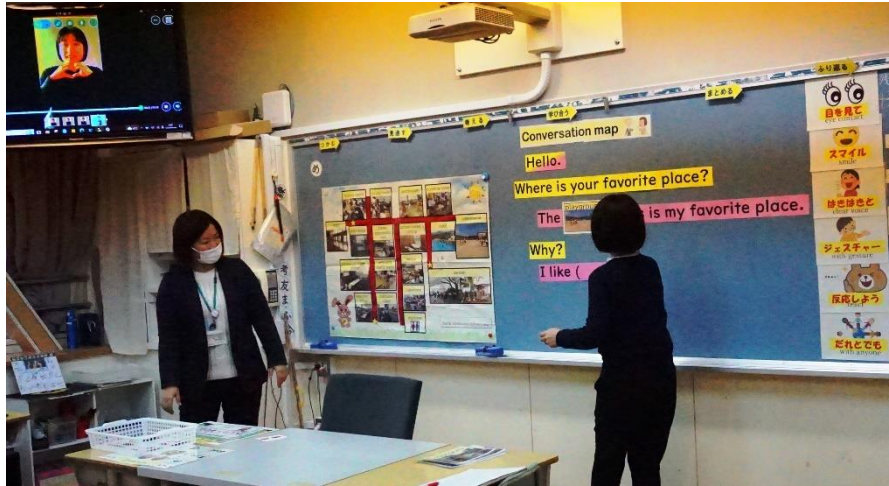
○質問や答え方に基本的な表現を取り入れることで、表現に十分に慣れ親しめるようにした。

○協働活動（ペア）で取り組ませることで、互いに教え合えるようにした。

○英単語は児童が紹介したい場所の単語のみに厳選し、後半の話す活動（やり取り）につながるようにした。

③お気に入りの訳を伝える言い方を考える。

①教育実習生からのビデオメッセージを見せ、もっと聞いてみたいことを児童に尋ねる。



なぜ運動場が好きなのかを聞いてみたい。

理由を尋ねるには英語で何と云えばいいでしょうか。

Why?

理由が分かるとどうですか。

相手のことがもっとよく分かります。

なるほど、と思います。

②児童とやり取りをしながら、**Conversation map**を完成させし、必然性のあるやり取りを意識させ、本時のめあてにつなげる。

そう思ったときに、「I see.」などの反応ができるといいですね。

なぜその場所がお気に入りなのかを、分かりやすく伝え合おう。

③お気に入りの訳を伝える言い方を考える。

③好きな理由を考える際に、自分の思いを大切にさせるため、まずは日本語で書いてよいことを伝える。



A児：「タイヤジャンケン」は英語で何と云うのかな。

知っている英語を使って工夫してみてはどうかかな？

B児：「タイヤ、Rock, Scissors, Pappar！」はどう？

A児：それいいね！ジェスチャーも付けてみよう！

④英語での表現が分からない場合は、ペアや教師と相談しながら、自分が知っている簡単な語句やジェスチャーを使って、伝える工夫を考えさせる。

③お気に入りの訳を伝える言い方を考える。

⑤Chantsのリズムに合わせて、やり取りの表現を復習する。

The music room. The music room.
This is my favorite place.

Why? Why?

I like music.

OK.

The library. The library.
This is my favorite place.

Why? Why?

I like books.

I see.

チャンツは単元の2時間目から、歌い、表現に慣れるように工夫した。

しかし、本時では訳を伝える必然性を考えた授業構成にしたため、友達とのやり取りを行う直前にチャンツを歌うよう工夫した。

④お気に入りの場所とその訳を伝え合う。

①コミュニケーションポイントを意識させるため、悪い例でのデモンストレーションを行う。（前時の課題：アイコンタクト）

アイコンタクトができていないから、気持ちが伝わりにくいと思います。

はきはき言えていないので、聞き取りづらいです。

そうですね。自分の思いを分かりやすく伝えるために、どれか一つ、今回はこのコミュニケーションポイントをがんばろう、という目標を決めて、友達とやり取りしていきましょう。



④お気に入りの場所とその訳を伝え合う。

②名刺サイズにしたお気に入りカードをやり取りの最後に交換する。



活動の始めは、Conversation mapを見ながらだったのが…

様々な友達と、**繰り返し**やり取りをする中で、自信をもって相手に伝えようとする姿が見られるように。

④お気に入りの場所とその訳を伝え合う。

③他己評価させ、分かりやすく伝えられている友達を紹介させ、よいコミュニケーションの在り方について全体で確認する。



〇〇さんはカードの写真を指しながら紹介しているので、いいと思います。ぼくもまねしたいです。

④分かりやすく相手に伝えられているかを意識させながら、最後にもう一度やり取りをさせる。



〇〇さんはうなずきながら、反応していたよ。わたしもまねしてやってみよう。

⑤ 本時の振り返りをする。

振り返りの視点「は・い・し」を意識させながら、本時のめあての振り返りをさせる。

はきはきと英語でお気に入りの理由を言うことができました。

「しっかりできた」の「し」ですね。友達に分かりやすく伝えられたのですね。

友達とお気に入りの場所が一緒でした。「Me,too.」と反応できました。

「いっしょに考えた」の「い」ですね。

〇〇さんは、うなずいたり、例にないところで、「OK.」などの反応をしたりしていましたね。「し」の「もっとチャレンジ!」ができていましたね。



かえ
は い し でふり振り返り

は ……^{はじめ}初めて知った!^{きづ}気付いた!

い ……いっしょに^{かんが}考えるっていいね!

し ……しっかりできた!もっとチャレンジ!

拝志小「振り返りの視点」

成果

- 音素体操やチャンツ、Conversation map作成などの活動のつながりを意識して授業構成を行った。その結果、児童の意識の流れがスムーズに移行し、めあてを達成するための意欲を高めることができた。
- 活動に応じて学習形態を工夫し、全体やペアでハイリントタイム（伝え合い活動）を取り入れることで、やり取りの必然性を考えたり、コミュニケーションにおいて大切なポイントなどを教え合ったりするなど、主体的・対話的に学ぶ児童の姿が見られた。
- 繰り返し伝え合う場や、よい発表をしている児童を紹介する場を設定することで、相手に配慮しながら、分かりやすく思いを伝えようとする意識の高まりが感じられた。
- ICTを活用して、自分の顔やお気に入りの場所の写真入りの紹介カードを作成し、それを指し示しながら伝えることで、自分の考えや思いを相手により伝えやすくなった。

課題

○前時に、お気に入りカードをタブレット上で送り合う機能を使ってやり取りをさせようとしたところ、操作に気を取られ、会話に集中することが難しい児童が多くいた。そこで、本時では名刺サイズのカードを最後に交換するようにし、友達とのやり取りの中で、動作や表情を工夫しながら、自分の考えや気持ちをより分かりやすく伝えるようにさせた。ICTを使用する場面と、やり取りの場面とを区別することで、より相手意識を高めることができると考える。

○振り返りの視点「は・い・し」を、児童が自分で意識できるようにするためにも、振り返りの場の設定を単元のどこで行うかを計画し、習慣付けておく必要がある。無自覚な気付きをもつ児童には、教師が適切に声掛けをしたり、価値付けたりして、自分や友達によさに気付けるよう指導することを心掛けたい。